

dyson

DCO3 取扱説明書

ご使用前に必ずよく
お読みください



DCO3 基本操作

ブラシ調節装置

ブラシ調節装置により、床面に応じて回転ブラシをON/OFFに切り替えてください。



NEUTRAL

たたみ、フローリングの掃除には、手動でNEUTRAL（ブラシOFF）に切り替えてください。

PARK

掃除機を直立状態にすると、ブラシOFFになります。「ワンタッチ伸縮式ホース&パイプ」を使って掃除するときは、この状態にしてください。



DRIVE

じゅうたんは、DRIVE（ブラシON）に設定して掃除してください。PARKからは自動的にDRIVEになります。NEUTRALになっているときは、手動でPARKにしてください。

回転ブラシの動きが妨げられると大きな音で警告します

ホース&パイプ
取りはずし
ストッパー

電源ON/OFF
スイッチ

サイクロン部
取りはずし
ツメ

持ち運び
ハンドル

ブラシ
調節装置

付属品 収納部

シリンダー取りはずし
ツメ

リバーシブルハンドル使用時には、
付属品の接続アダプターを
ホースの先端と、ハンドル部分に
つけてお使いください

カバーキャップ
取っ手

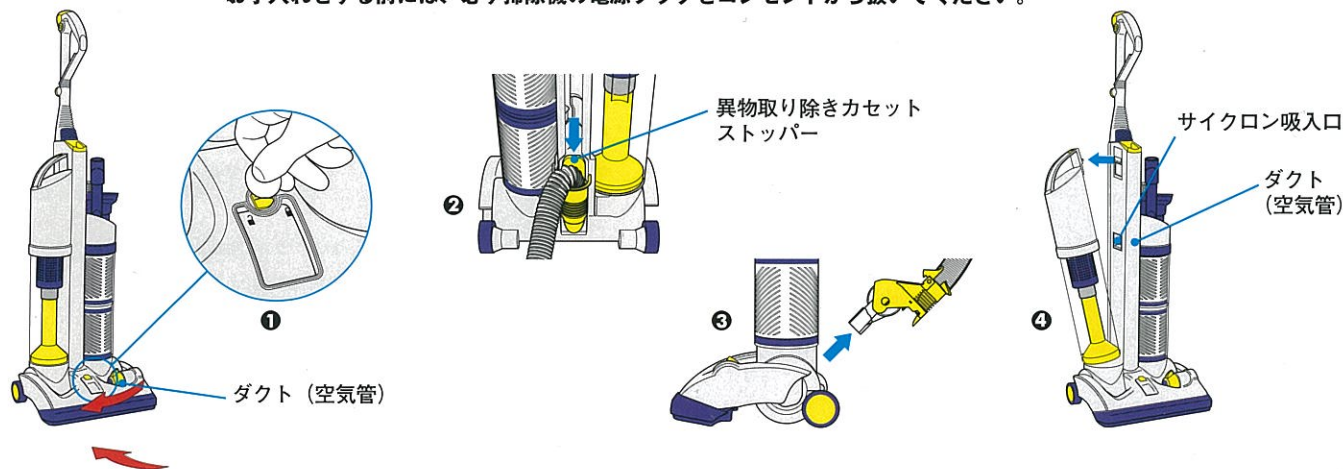
電源コード
掛け（上）

パイプ

狭いスペースなどの掃除には、
ホースやパイプに付属品を
装着してください

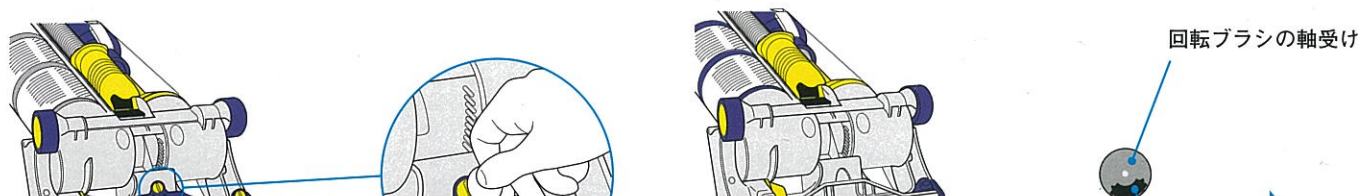
異物の除去とブラシバーのお手入れ

お手入れをする前には、必ず掃除機の電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ① 硬貨などで黄色いツマミをゆるめ、「簡単とりはずしカバー」をはずします。異物がないかどうか、ダクト(空気管)と底板の裏側をチェックします。
- ② ホースからパイプをはずし、まずパイプ内を覗いてチェックします。ホースの根元の内側にある黄色い「異物取り除きカセット ストッパー」を手前に引きます。
- ③ 「異物取り除きカセット」を取り出し、中をチェックしてください。取りつけるときは、カセットを45度に傾けて元の位置に収め、ストッパーが完全に留まるまで差し込んでください。
- ④ サイクロン部を取りはずし、サイクロンの吸入口とダクトをチェックします。

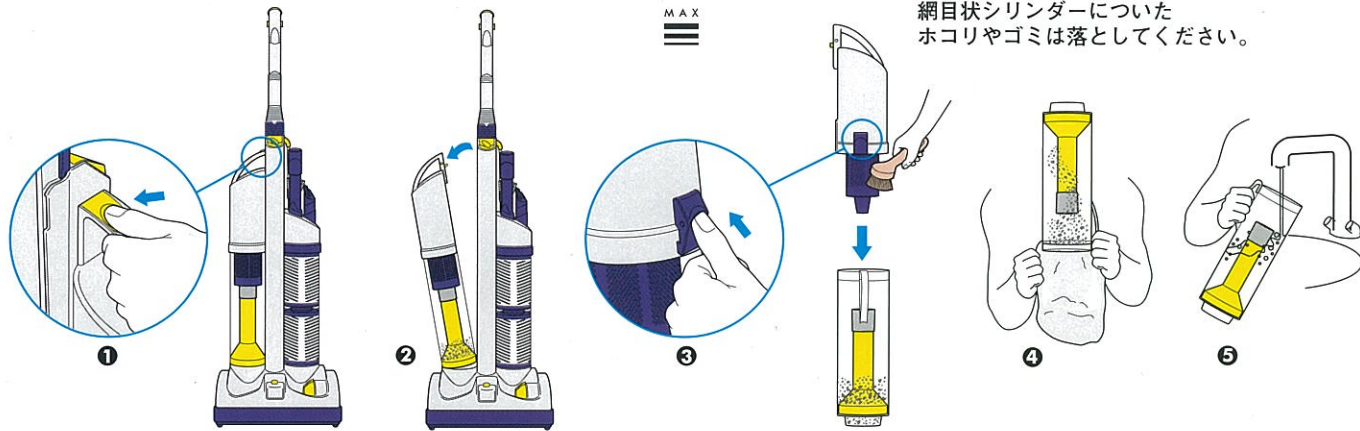
回転ブラシの動きが何かに妨げられると、大きな音を発し、ブラシの回転が自動的に停止します。このようなときは、掃除機が吸い込んでいるものから吸入口を離せば音が止み、ブラシは自動的に回転を再開します。回転ブラシに絡まった糸などを取り除くときは、まず電源プラグをコンセントから抜いてから、ハサミなどで切り取ってください。



ゴミの捨て方

ゴミが透明シリンダーの「MAX」の線までたまったら、捨ててください。

網目状シリンダーについた
ホコリやゴミは落としてください。



- ① ハンドルを握りながら黄色い「サイクロン部取りはずしツメ」を押して、手前に引きます。
- ② サイクロン部を掃除機本体から取りはずします。
- ③ 黄色い「シリンダー取りはずしツメ」を押して、透明シリンダーを取りはずします。
- ④ 透明シリンダーのふちをビニール袋でぴったり覆い、シリンダーを逆さまにしてゴミを袋に落下させます。ホコリが袋の底に落ち着くまで、10秒ほどお待ちください。シリンダー内のゴミをそのままゴミ箱にお捨てになっても結構です。
- ⑤ 透明シリンダーは適宜、ぬるま湯で洗ってください。その際、洗剤はご使用にならないでください。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。また、透明シリンダーは完全に乾いてから掃除機本体に取りつけてください。

ダイソンお客様相談室

ダイソンの掃除機はすべて2年間の保証付きです。お買い求めのダイソン掃除機についてのお問い合わせは「ダイソンお客様相談室」が承ります。お問い合わせはほとんどの場合、当社の専門スタッフが電話で対応できます。それ以上の措置が必要な場合は、お客様の掃除機をお引き取りにうかがい、ダイソン社で修理・テストおよびクリーニングを行った後、再びお客様のお手元にお届けし、

プレモーター フィルターの洗浄方法

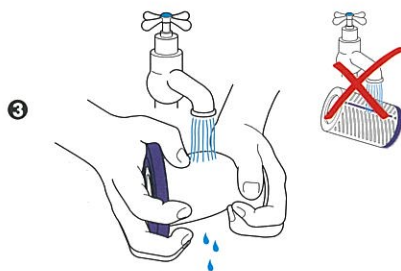
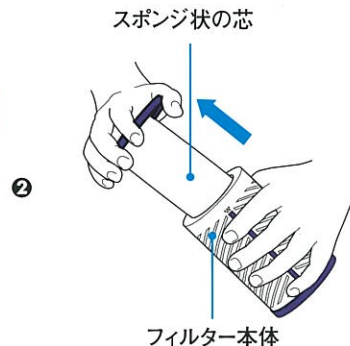
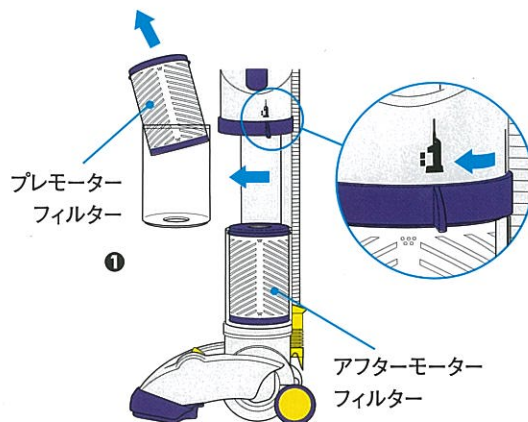
永久使用プレモーター フィルターは、6ヶ月ごとに洗浄してください。

フィルターを取り出す前には、必ず掃除機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ① 「フィルター取りはずし回転ストッパー」を左に回して、フィルターケースを掃除機本体から取りはずします。プレモーター フィルターをケースから取り出します。
- ② プレモーター フィルターの内部にあるスポンジ状の芯を取り出します。内部のスポンジ状の芯のみが洗浄可能です。フィルター本体は洗わないでください。
- ③ 洗浄は、内部のスポンジ状の芯を水道の水を流しながら軽くすすぎ洗いし、洗った水が透明になるまで行います。その際、洗剤および洗濯機、食器洗い機などは使用しないでください。

⚠ フィルター本体は洗わないでください。

- ④ スポンジ状の芯を軽く絞り、余分な水滴をふり落とします。
- ⑤ スポンジ状の芯をストーブの近くなどの暖かい場所に置いて乾燥させてください。その際、乾燥機や、電子レンジ、オーブンなどは使用しないでください。また直火にかけないでください。
- ⑥ フィルターケースに戻す前には、スポン



安全上のご注意 必ずお守りください

火災や感電、怪我などを未然に防ぐため、ダイソンDC03掃除機をご使用される際には、事前に以下の「警告」および「注意」に示された注意事項をよくお読みになったうえ、必ずこれに従ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- お使いのコンセントの電圧が、製品仕様に記載されている電圧と適合していることを必ずご確認ください。

仕様	
電源	100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	690W
吸込仕事率	90W
真空度	14651 Pa
風量	0.9 m³/min
コード長さ	7.4 m
質量	6.94 kg

- 掃除機の電源コードが破損した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードの交換が必要です。電源コードの交換は、特殊な工具や専門技術を要するため、ダイソン社以外による修理・交換はできません。
- 掃除機の一部に瑕疵があったり、紛失・損傷しているようであれば、いかなる箇所であれ掃除機は使用しないでください。このような場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
- コンセントに電源プラグを差し込んだまま掃除機を放置しないでください。掃除機をご使用にならないとき、または掃除機のお手入れやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 手足や指を掃除機本体、特に回転ブラシに近づけないようご注意ください。特に小さいお子様が掃除機に近寄ったり、掃除機で遊んだり、また、掃除機をご使用

- 電源コードを無理に引っばったり、掃除機本体などでひいたり、ドアにはさんだり、鋭利なものに引っ掛けたりしないようにしてください。電源コードが損傷する恐れがあります。また、電源コードは熱いものの近くや、その上に置かないでください。コードが損傷した場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。

- 階段を掃除するときは、掃除機より上の段に立ってご使用ください。

- 水やその他の液体を吸い取ることは、絶対におやめください。また、屋外、風呂場、シャワー室内、ぬれた床面などでご使用になると、感電の危険性がありますのでおやめください。

- ぬれた手で掃除機を操作したり、電源プラグに触れたりしないでください。

- 灯油、ガソリン、シンナーなどの可燃性の高いもの、燃えやすいものを吸い取ることはおやめください。また、これらのもののそばで掃除機を使用しないでください。アスベスト（石綿）、アスベスト塵、その他の有毒物（コピー機のトナーなど）を吸い取ることは絶対におやめください。

- 熱い灰や燃えているものを吸い取ることは絶対におやめください。

- 掃除機のお手入れをするときは、本体を水に浸すことはおやめください。水洗いできるのは、透明シリンダーだけです。透明シリンダーは、本体から取りはずしてゴミを捨てた後に、なかを水洗いできます。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。透明シリンダーは、完全に乾いてから本体に取りつけてください。

- 火やガスの炎のそばで掃除機を使用しないでください。

- 電源プラグをコンセントから抜く前に、掃除機のスイッチをOFFにしてください。

- 電源プラグが傷んだり、コンセントや電源コードの差し込みがゆるいときは、ご使用にならないでください。

- 電源コードをクリーナーヘッドの回転ブラシに巻き込まないでください。

- 付属の電源コード以外のコードは、ご使用にならないでください。

- 電源プラグは、根元まで確実にコンセントに差し込んでください。

- 電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除いてください。

注意

- ご使用前に、必ずサイクロン部を本体の正しい位置に取りつけ、フィルターを装着してください。

- ダイソン社製、またはダイソン社が推奨する部品以外は、ご使用にならないでください。メーカー保証が無効になる場合もあります。ご不明の点がございましたら、「ダイソン」お客様相談室にお問い合わせください。

- たたみやフローリングを掃除するときは、必ず回転ブラシをOFFにしてください。じゅうたんに毛玉ができた場合は、回転ブラシをONにして掃除することで毛玉を取り